

平成24年度 芳賀町立芳賀中学校 学校評価書

学校評価のねらい

すべての教育活動その他の学校運営が効果的に実施できているかどうか、保護者、学校、地域住民(学校評議委員=学校関係者評価委員)等が連携し、評価する。それらを通して、生徒がよりよい教育活動を受けられることをめざし、学校をよりよくするための方策を明らかにする。

1 校訓・教育目標

校訓	創造 敬愛 実践	自ら学ぶ生徒 心豊かな生徒 たくましい生徒 ふるさとを愛する生徒
----	----------------	---

2 目指す学校像

すべての生徒と職員が 夢を育み 知を磨き(創造) 心豊かに(敬愛) 汗を流して(実践) 高め合う学校
--

3 学校経営の方針

基本経営理念：「明日の芳賀町を担う生徒の育成」	～誇れる、つよい学校・生徒づくり～
<ol style="list-style-type: none"> 1 生涯学習社会に生きる生徒の育成 2 望ましい生活習慣と社会性の育成 3 確かな学力の保証 4 豊かな心をもつ生徒の育成 5 健やかな体をもつ生徒の育成 6 全職員による学校経営参画 7 家庭や地域、関係機関との協働による学校経営 	

4 今年度の重点目標・努力点

<ol style="list-style-type: none"> 1 確かな学力を身に付けた生徒の育成 プロジェクト知 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基礎的・基本的な知識や技能の定着 (2) 課題解決のための思考力・判断力・表現力の育成 (3) 主体的な学習態度の育成 2 豊かな心をもつ生徒の育成 プロジェクト徳 <ol style="list-style-type: none"> (1) 道徳の授業の充実 (2) 学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の充実 3 健やかな体をもつ生徒の育成 プロジェクト体 <ol style="list-style-type: none"> (1) 心身の健康増進 (2) 部活動の充実 4 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っていく生徒の育成 生き方指導 <ol style="list-style-type: none"> (1) 学業指導の充実 (2) 生活の基盤づくり (3) 郷土愛の育成 (4) 生涯学習社会に生きる資質の育成
--

5 評価指標について

※主な具体的評価指標は、目標の達成状況を把握するための指標(△成果指標)、達成に向けた取組の状況を把握するための指標(▽取組指標)に大別できる。

6 評価の仕方

評価ランク	評 価 規 準	
A	80%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B	60%以上80%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
D	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

※該当しないときは未記入とする。意見がある場合には、自己評価がA・Bのときには達成状況を記入し、C・Dのときには改善策を記入する。

※生徒・保護者・教職員の評価欄は、A～Dの評価の中で最多数のものを評価値とする。数値はA・Bの割合です。

※外部アンケートの○は生徒、●は保護者の主な意見です。()の中の数字は同じ意見を記入した人数です。

評価項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		外部アンケート以外の情報・データ	学校関係者評価	
			評価	○達成状況と▲改善策		評価	○成果と▲課題
1 確かな学力を身に付けた生徒の育成プロジェクト プロジェクト プロジェクト プロジェクト	(1) 教職員は基礎的・基本的な知識や技能の定着に努めている。	①▽どの子にもわかりやすい手だてを实践し、授業展開している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○具体物を使うように心がけている。(同意見2人) ○授業の始めに学習のめあてを提示し、取り組んでいる。 ○視覚情報の提示の仕方を工夫し始めた。 ○電子黒板、パワーポイント、PCソフトなど工夫している。(同意見2人) ○生徒の理解度をみなから授業展開を考えた。 ○学習環境の整備、リーダーの活用による生徒相互の学び合いなどをすすめた結果、わかりやすくなった。 ▲底辺を上げるようにヒントカードを用意したい。 ▲パソコン室の環境を整える。 ▲T Tの効果を上げるようにする。(同意見2人) ▲教材研究をしっかりと行う。 	<p>とちぎの子どもの基礎・基本の確認テスト</p> <p>小テスト、計算・漢字・英単語テスト、定期テスト</p> <p>各教科の実践記録(具体的な手立て・生徒の変容を記入)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> ○わかる授業づくりに取り組んでいることがよい ○総合的な学習の時間の発表会を見ると、聞く態度ができていて整然としている。当たり前のことできちんとできている。学ぼうという土台ができて再認識した。 ▲授業がわかると答える生徒の人数をもっと増えるように、研究に取り組んでほしい。 ▲授業でのほめ方に、教員の差をなくしてほしい ▲パソコン室や先生使用のパソコンを新しいものにしてほしい。
		②▽基礎・基本の知識や技能が定着したかどうか確認している	B	<ul style="list-style-type: none"> ○担任の呼びかけで、小テストの取組もよくなり、合格者も増えてきた。(同意見2人) ○すべての時間のワークシートを提出させ、学習状況をチェックしている。 ○小テストを実施した。(同意見3人) ○これだけは身に付けてほしいことを徹底した ○基礎・基本の洗い出しを中教研で協力を得て行った。 ○毎時間、自作復習プリントを使用している。 ▲小テストを実施する。 ▲自己評価等の工夫をする。 ▲問題演習のための時間の確保が必要である。 			週案
	(2) 教職員は生徒の思考力・判断力・表現力の育成に努めている。	③▽観察・実験・レポート作成・論述・発表などを通して、言語活動の充実に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○1分間スピーチやライブ(日記)を通して言語活動の充実に努めている。 ○ワークシート上で工夫している。(同意見2人) ○お互いに技能をチェックして改善し合うようになった。 ○書く活動を通してできた作品を読み合う場面を作り、表現力向上に努めた。 ▲考えをまとめる時間を確保する。 ▲週1回の授業のため、余裕はないが、時間配分の検討をしたい。 ▲1分間スピーチを毎日続ける。総合の発表なども、もっと取り入れる。 ▲個に応じたプリントを作成し、考えを書ける 			

			<p>ようにする。 ▲「答える」だけでなく、「尋ねる」をもっと入れる。</p>	
(3)教職員は生徒の主体的な学習態度の育成に努めている。	④▽よいところを認めたり、ほめたり、励ましたりするなど、生徒が意欲的に取り組める授業づくりに努めている。	B	<p>○些細なことでも褒めるようにしている。(同意見3人) ○意欲を出させるために褒めることには力を入れた。(同意見2人) ○頑張った生徒に頑張った分の賞賛を与えるよう心がけた。 ○否定することなく、肯定した助言に努めた。 ○生徒本人が苦手でもできる課題を選び、まずは取り組めたことを褒め、達成感を感じさせた。</p>	週案
	⑤▽コミュニケーション能力を育成するため、授業の中にペア学習やグループ学習など、すべての生徒が話したり聞いたりする場のある授業を進めている。	B	<p>○授業の中で意識して位置づけるようにしている。(同意見4人) ○理科の実験や学活でグループ学習をたくさん行った。 ○目標達成、技術習得に向けて、協力して練習できるようになった。 ○グループ学習が基本となっているので、常時、生徒はコミュニケーションをとっている。 ○すべての時間に1回はペア学習を取り入れている。 ○自分の意見をことばで班の人に伝えるよう指導してきた。 ▲発表の場面の工夫をする。 ▲話し合いの仕方を教える必要がある。</p>	
	⑥▽助言するなどして家庭学習の習慣化に努めている。	B	<p>○個に応じた課題を与えて、継続して取り組めるようにしている。 ○個の実態に応じて、やり方、時間の使い方を指導した。 ○自主学習ノート提出の習慣化に力を入れ、定着してきた。(同意見5人) ○よい例、悪い例を提示し、よりよい方法を教えている。 ▲自主学習ノートの提出ができない生徒に根気よく声かけしていく。 ▲家庭学報のコツを教える。</p>	

外部アンケート	生徒	保護者	意見
○私は授業がよくわかる。	B	/	<ul style="list-style-type: none"> ・全部の教科の授業がよくわかるわけではありません。 ・授業についていけないと思うのでもう少しスピードをゆっくりにしてほしい。(4) ・授業が難しい。
○私は学習内容の大切なところが身についている	B		
○私は人前で自分の考えを発表することができる	C		
○私は授業に一生懸命に取り組んでいる。	B		
○私は毎日家庭学習をしている。	A		

●子どもは授業がよくわかっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・適応指導教室に通うようになり、少しずつ自分のペースで勉強する意欲が出てきたように思います。このような教室があり、有難く思います。これからも御指導を宜しくお願い致します。 ・目標を見つけてからは意欲的に学習にとりくみ始めました。(2) ・ダンスの授業は、意欲的に楽しく取り組んでいた。 ・宿題、自主学習はやっているが、身に付いているのか不安(ただノルマをこなしているだけのような気もする)。もっと意欲をもって学習してほしい(3) ・苦手な所をサポートして頂くような時間を作って頂けるとありがたいと思います。 ・いろいろな活動(陸上、駅伝、コンクール等)に参加しているため授業が抜けてしまうことがある。そのための補修をやってもらいたい。 ・質問・自習の時間を設けて頂いていますが、質問できずにいる様です。(4) ・授業の理解度は、教科によってかなり差が大きいです。 ・他の中学校では、受験に向けて中間、期末テストを1日で終了させている。芳賀中も2～3日に分けて1日で実施してほしい。 ・もう少し、部活動より学習に力を入れた方がよいと思います。(部活動の帰る時間、休み等、特にテスト前は1週間位休みにする等)(2)
●子どもは学習内容の基礎・基本が身についている。	B	
●子どもは人前で自分の考えが発表できている。	B	
●子どもは授業に意欲的に取り組んでいる。	B	
●子どもは毎日家庭学習をする習慣が身についている。	B	

評価項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		情報・データ	学校関係者評価	
			評価	達成状況と改善策		評価	成果と課題
2 豊かな心をもつ生徒の育成プロジェクト	(1)教職員は道徳の授業の充実に努めている。	①△道徳の授業時数35時間を実質的に確保している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○達成状況と改善策 ▲他の授業に振り替えないようにする。年計通りすすめる。(同意見2人) ▲午後の授業のため、抜けることが多い。午前に入れるなど時間割の工夫が必要である。 ▲内容を深めていく。 	週案	B	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の授業を保護者に公開し、よい取り組みである。 ▲道徳教育の大切さを保護者にも知らせる必要があると思う。保護者も含めた道徳教育が必要である。 ▲家庭で手伝いをさせていないところが多いので心を育てる意味でも、手伝いをさせるべきである。 ▲部活動での礼儀の指導は必要である。
		②▽「生命尊重」「思いやり」「感謝」を内容項目とした道徳の授業の充実に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○年計通りに授業が行えた。(同意見2人) ○学級の問題に対応して取り上げるように心がけている。 ○学校目標、学級目標を意識しながら授業の組み立てを考えた。 			
		③▽道徳の授業を公開し、懇談会をもち、家庭との連携のきっかけとなっている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者から、家では一緒に考える時間がないのでありがたいという声があった。 ○授業の後に、コメントを寄せてくださるなど保護者の意識が高まった。 ▲公開をきっかけに、道徳の授業を学年だより等で伝え、家庭と連携していく。 ▲道徳の授業を学級通信等で公開する。 ▲連携のきっかけとなるように工夫する。 ▲授業について保護者と意見交換する場をつくる。 			
(2)教職員は学校の教育活動全体を通して行う道徳教育の充実に努めている。	④△「道徳コーナー」を充実させることによって、体験活動との関連を図ることができている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学年の掲示板等を利用して充実させた。 ▲学年で工夫する。 ▲体験活動後の写真掲示と絡めて作っていると効果的である。 				
	⑤△清掃活動を通して豊かな心を育むこと		<ul style="list-style-type: none"> ○よく取り組んでいる生徒もいる。(同意見2) 				

	ができています。		B	人) ○段々よくなってきた。 ○生徒と共に清掃に取り組んできた。 ○毎回、やるべきことは取り組めていた。 ○少しずつ清掃を通して心を育てるということが分かりかけている。 ▲清掃活動が心の成長につながることを伝えていく。〈同意見2人〉	
外部アンケート	生徒	保護者	意見		
○私は道徳の授業で、「生命尊重」「思いやり」「感謝」の心などを学んでいる。	A	/			
○私は清掃活動に一生懸命取り組んでいる。	B				
●子どもに「生命尊重」「思いやり」「感謝」の心などが育まれている。	/	B	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーなどへ行っても、障害者の車イスの補助を率先してやっているのを見ると、うれしいです。 ・自分がよければという所もあるが、クラスがまとまってやる行事などを通して少しずつ変わってきている気もする。 ・家庭で仕事が自主的にできるようになればと思います。 ・家にいる時間があまりないため、家の事までする余裕がないようです。(5) ・部活動によって丈夫な身体、体力づくりだけでなく情緒面での大きな成長が期待されるが、あまりにも部活動の時間がありすぎると思う。他の中学校では、水曜日等に部活動を休みにしたり、朝練がなく、その分放課後の部活動に集中して活動するなど、学習時間をしっかり確保している。配慮してほしい。 		
●子どもは家庭で一生懸命仕事をしている。		B			

評価項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		情報・データ	学校関係者評価	
			評価	○達成状況と▲改善策		評価	○成果と▲課題
3 健やかな体を生徒の育成プロジェクト	(1)教職員は生徒の健康増進に努めている。	①▽「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣を身に付けさせる取組をしている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭の協力をその都度お願いしている。〈同意見3人〉 ○アンケート調査や事後指導を実施した。 ○朝の会などで重要性を話した。 ○学活で、朝食についての授業を行い、朝食の内容や生活リズムを見直すことができた。 ▲情報発信のみでなく、具体的に0時前に寝る6時頃起きるなどの数字の設定をして、家庭の協力を得るようにする。 	週案	B	<ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業が授業開始5分前から準備運動が始まっているのがすばらしい。 ▲生徒の体力低下は、生活の中で歩くことが少なくなったり、家の手伝いをしなくなったことにある。田園地帯でのバス通学は全国的にも珍しい。
		②▽教科や学級活動等で食育の授業を行っている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○食べることはとても大切だということを意識させるために、毎日記録させている。 ○1年生全学級、栄養教諭とのTTの授業を実施し、朝食の大切さを再確認することができた。 ○給食の食材を花壇で栽培し取り上げた。 ○保体と関連づけて普段から行っている。 ○食育だよりや保健だよりを活用している。 ▲年計通り授業を実施する。〈同意見3人〉 ▲1学年に偏らず、時期や内容を考えて、全学年で行う。 			

	③▽新体力テストの結果をもとに、授業で補強運動に努めている。	B	○個に応じて、楽しく体力向上が図れるように工夫したい。 ○不足している体力の補強運動を実施した。 ▲体育科で話し合って統一性をもたせる。	新体力テストのデータ
(2)教職員は部活動の充実に努めている。	④▽部活動に意欲的に取り組むよう、目標設定をして運営している。	A	○目標を考えさせ、部全体の目標を掲示して、意欲を高め練習している。〈同意見2人〉 ○「強い芳賀中」をめざして頑張らせている。 ○帰りの会は時間を守って終了し、すぐに活動場所について指導した ▲部活動を休みがちな生徒に目標をもたせることが必要である。 ▲教師が意欲的に取り組む。 ▲生徒の意欲を高めるためにスモールステップで認めていく。	
外部アンケート	生徒	保護者	意見	
○私は「早寝・早起き・朝ご飯」を実践している	A		<ul style="list-style-type: none"> 給食を多くしてほしい。 食生活をよくするための話があるとよい。 	
○私は食生活をよくしようとしている。	A			
○私は意識して体力向上に努めている。	A			
○私は目標をもって部活動に取り組んでいる。	A			
●子どもは「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身についている。		B	<ul style="list-style-type: none"> 朝ご飯はしっかり食べています。(3) もともと規則正しくきちんとバランスよく食べているので必要ない。 部活動が終わって帰宅し、夕食、宿題、自学があり、共働きのため早い時間に寝る事は難しい。(4) 部活動で、寝不足気味になり、朝練のあるので時々食べずに行く日もあります。 中学生になってから自分で考え、自宅を出る時間、起床時間などを考え生活できるようになりました。 芳賀中全体の体力が低下している。 部活動は楽しく参加できているので安心して 熱心に御指導頂きたいへんありがたいと思っておりますが、たまに土日のどちらかは休みがあっても良いのではないかと思います。 部活動の遠征の件ですが近県はともかく、遠方への親の参加は、仕事、そしてその分の出費等も重なり少々きびしいものがあります。 部活動で購入する物は、見本なども見せて参考にさせてもらいたい。活動予定表は早く作ってほしい。 	
●子どもは食生活の改善に努めている。		B		
●子どもに体力がついてきている		B		
●子どもは部活動に意欲的に取り組んでいる。		A		

評価項目	評価指標	主な具体的評価指標	自己評価		情報・データ	学校関係者評価	
			評価	○達成状況と▲改善策		評価	○成果と▲課題
(1)教職員は学業指導の充実に努めている。	①△一人一人が学級に所属感や連帯感を感じる居心地のよい学級づくりができています。		B	<ul style="list-style-type: none"> ○達成状況と▲改善策 ○不適応生徒ができたが、トライや特別支援学級の協力で登校できるようになった。 ○学校行事を通して、自分の役割をきちんと果たさせていた。 ○学校行事を通して、人間関係づくりを工夫した。 ○グループエンカウンターを行い、連帯感を生み出した。 	Q-Uテスト	B	○町行事の「梨の里マラソン」、「町文化祭」でのサンマ焼きのボランティア活動、「芳賀町環境美化の日」、「町民大運動会」に参加し、町民や地域とのふれあいができている。

4 夢や目標に向かって力強く自己実現を遂げる生徒の生き方指導

		<ul style="list-style-type: none"> ○1人が欠けても学級ではないという意識で係活動、テスト等一丸となって取り組んだ。 ○機をみて、相互評価を行っている。お互いの評価で自己肯定感が増している。 ▲問題点を取り上げ、学級会で話し合いをもち改善を図る。 ▲学級の中での自分の存在感が感じられない数名の生徒への配慮と、周りの生徒への働きかけが必要である。 		
	②△集団生活や対人関係におけるルールが生徒に共有され、人間関係が良好な学級づくりができています。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○ルールやマナーづくりの指導に力を入れた。〈同意見2人〉 ▲一部のわがままを認めない指導を心がける。 ▲おとなしい生徒を把握する。 	
	③△建設的な相互作用がある学級づくりができています。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○学級活動で建設的な話し合いや意見のねりあいができている。 ▲生徒たちが自治している雰囲気をつくるようにする。 ▲特活などでも活躍の場面をもっと増やすことで相互作用が生まれている。 	
(2) 教職員は子どもの生活の基盤づくりに努めている。	④▽基本的な生活習慣の確立に努めている	B	<ul style="list-style-type: none"> ○気づいたときに指導した。 ○あいさつ、返事、時間を守ることなど、学級での指導をきちんと行った。 ○整理整頓に力をいれて指導した。 ○個々により落ち込みが違うので、個別の指導で直すべきポイントを示した。 ▲リーダーを育成し、生徒の中から学級・学年全体の規範意識を高めしていく。 ▲整理整頓を身に付けさせる必要がある。〈同意見2人〉 ▲組織として指導する。 	生活アンケート
	⑤▽規範意識や倫理観の育成に努めている	B	<ul style="list-style-type: none"> ○道徳の授業以外でも、様々な価値観の指導を行った。 ○折に触れて、重要性について話をすることができた。 ○ダメなものはダメと一貫して指導している。 ○担任に情報を知らせ、全体指導をしてもらったり、個別指導をした。 	
	⑥▽キャリア教育・進路指導の充実に努めている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ○マイ・チャレンジに熱心に取り組んだ。〈同意見2人〉 ○特に進路について強く意識させた。 ○高校受験だけでなく、進路を考えられるようにしている。 ○実際に経験したこと、現場の人から仕入れた情報を話している。 ○学活で進路の実際について説明する時間をとった。 ▲進路情報をもっと与えてあげたい。 	

▲意識付けをして今後も、芳賀町に貢献する人、芳賀町を大切に思う人を育ててほしい。

(3)教職員は子どもの郷土愛の育成に努めている。	⑦▽生徒が町の行事(教育祭、体育祭、環境美化の日等)に積極的に参加するように推奨している。	B	<p>▲もっと系統的にやっていく必要がある。</p> <p>○部活動を配慮し参加するように呼びかけた。〈同意見6人〉</p> <p>○教育祭のボランティアとして参加した生徒は郷土愛が育まれた。</p> <p>○部活動単位で参加できた。〈同意見2人〉</p> <p>○柔道部で町のスキー教室に参加する。</p> <p>○生徒と共に参加するよう心がけた。</p> <p>▲部活動開始時刻を遅くしても参加しない子がいる。家庭の協力や理解を求めている。</p> <p>▲全部の部活動が徹底できるように、年間行事に入れる。</p> <p>▲地域ごとの予定を生徒自身に把握させる必要がある。</p>
	⑧▽総合的な学習の時間において、郷土に係わる内容を取り上げ、郷土愛の育成に努めている。	B	<p>○郷土の産物について調べ、まとめた。今後は史跡なども調べさせたい。</p> <p>○芳賀町を深く知るいい機会なので生徒も興味をもって調べた。</p> <p>○校外学習を地域の方が快く受け入れてくれているので、郷土愛につながる。</p>
(4)教職員は子どもが生涯学習社会に生きていくための資質の育成に努めている。	⑨▽学校生活の場面で主体的に選択、決定させ、その判断に責任をもたせる場や機会を設定している。	B	<p>○自分の行動に責任がもてるようになってきている。</p> <p>○生徒が前面に出て活躍できる場面を作ってきた。〈同意見2人〉</p> <p>○地域への貢献の例を紹介した。</p> <p>▲指示待ちにならない生徒を育成する。</p>
外部アンケート	生徒	保護者	意見
○私たちの学級は互いに一人一人を大切にし、居心地がよい。	B		<ul style="list-style-type: none"> うるさくするなど、一人一人が話を聞こうと思っていない。協力的でない。(4) 僕の学級はよくない雰囲気である。(2)
○私たちの学級は一人一人がルールを守り、協力的である。	B		
○私たちの学級は一人一人が一生懸命に諸活動に取り組み、互いに高め合っている。	B		
○私は町の行事(教育祭、大運動会、梨の里マラソン、環境美化の日など)に参加している。	B		
○私は自分の考えを大切にし、自分をよりよくしようとしている	B		
●子どもは学級・学校が楽しいようである。		A	<ul style="list-style-type: none"> 男女とも仲良く接しているようで学校生活を楽しんでいます。 成績は思うようにはいかないようですが、学校生活はとても楽しいようです。連休などの時には「早く学校に行きたい・・・。」と話すこともあります。 先生方の御指導のおかげで、学校は楽しく、友達とのトラブルも3年間ないようです。ありがとうございます。 楽しく学校生活を送っている様子です。ただ、
●子どもは学級・学校でよい影響を受け、正しい行動がとれている。		B	

<p>●子どもは意欲的に行動し、成長している。</p>		B	<p>何に対しても受動的でまわりの目を気にし消極的です。(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体行動が苦手で、社会参加にも人の関わりがあると自分からは入っていけないところがあり心配です。 	
<p>●子どもは町の行事(教育祭、大運動会、梨の里マラソン、環境美化の日など)に参加し、社会参加意識が高まってきている。</p>		B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に積極的に参加できる環境を作っただけだと有難い。(2) ・町の行事に部活動の大会が重なってしまい残念ながら参加できませんでした。(6) ・クリーン芳賀の日は、部活動も休みになっており初めてゴミひろいに参加できて良かった。 	
<p>●子どもは自分の行動に責任がもてるようになってきている。</p>		B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校内での活動から地域活動につなげていくための取り組みが一部の生徒にとどまっているような気がします。もう少し積極的に社会に目を向けてくれるように家庭でも気を配りたいと思います。 	
			<ul style="list-style-type: none"> ・町の行事ですが、任意参加なのでなかなか参加しようとはしません。社会参加というのであればどれか1つでも学校行事(全員でなくても分担しながらでも)としてもよいのではないのでしょうか。 ・小さい時から最後の決断は本人にさせてきたので、一度自分で決めた事はしっかりやり遂げている。 ・自主性がついてきていると感じます。(2) ・2年生になり、何事にも一生懸命に頑張る様になったと思います。これからも、自分のためにも、学校のためにもクラスのためにも部活動のためにも頑張ってもらいたいです。 ・以前は正しい行動がとれても、周りからのひやかしやからかいに対して、自分を隠すこともありましたが、現在は強い意志をもって、一人になっても立ち向かう勇気もてるようになりました。 	

7 まとめと次年度へ向けて(学校関係者評価を受けて)

<ol style="list-style-type: none"> <p>1 確かな学力を身に付けた生徒の育成(プロジェクト知)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教科で「どの子にもわかりやすい手立ての工夫」をすすめ、実践したことを記録し、取り組んだ結果の生徒の感想をデータ化して、P-D-C-Aサイクルで、効果を上げていく。 ・すべての授業の中で、よいところを認めたり、ほめたり、励まし合ったりして、生徒が意欲的に授業に取り組めるように、教員一丸となって取り組んでいく。 ・たくさんの知識をもっているだけではなく、もっている知識を世の中で生かすために、その知識をつないでいくための「コミュニケーション能力」を身に付けさせる。そのために、「言語活動」をより多く取り入れた授業を進めていく。 ・個の学力に応じた課題を与え、家庭学習にやる気をもたせていく。 <p>2 豊かな心をもつ生徒の育成(プロジェクト徳)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道徳の授業時数の確保のため、時間割を水曜日に入れる。 ・「豊かな人間性と創造性をはぐくむ学校づくり」のために、道徳の授業の生徒のコメントを学年通信に載せたりする。授業内容に家庭との意見交換できる内容を入れておく。(例えば、マナーブック集のワークシート「県の子どもの規範意識を高めよう」をやりましたので、家で話し合ってみましょう。また、生徒のワークシートに家の人のコメントを書いてもらうなど。) ・道徳の授業を統一した時間に設定する。学期に1回を目標に、各学年で統一の授業を実施し、その感想を学年でまとめ、道徳コーナーに掲示したり、保護者にプリントにして配布する。また、実施した様子をブログにも載せる。 ・司書に学級を回ってもらい、本の紹介をしてもらい、良書を読ませるようにする。 ・学校行事を通して、「感動」を追求し、共有できるように、生徒主導型にしていく。 ・清掃による心の指導の効果を上げるため、自己評価をさせる。 <p>3 健やかな体をもつ生徒の育成(プロジェクト体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣化のため、早寝や早起きの時間を具体的に示し、家庭の協力を得る。 ・部活動での体力向上をめざす。生徒の意欲を高めるために、スモールステップを認めていく。 ・部活動運営について、保護者の理解を得るように、顧問と保護者の連絡や関係を密にする。 ・部活動のやり過ぎや勝利至上主義の考え方をせず、適正に運営する。 <p>4 夢や目標に向かって力強く自己実現を図っていく生徒の育成(生き方指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員、生徒、保護者、地域が、学校経営方針の基本経営理念「明日の芳賀町を担う生徒の育成」を共有し、保護者や地域の方々の学校運営への参画を進め、学校・家庭・地域が一体となった学校経営を実践していく。 ・町の行事に自ら参加する意志が芽生えるように、町とのふれ合いを多くし、郷土愛をもった生徒を育成していく。 ・「居心地がよく、規範意識の高い、高め合う集団」で育った生徒は、社会にでて、夢や目標をもって、力強く生き抜いていける。そこで、集団の中で学ぶという学校教育の特質を生かして、一人一人を成長させるという視点に立ち教育活動を見直し、生徒の行動の背景に目を向け指導していきたい。
--